取扱説明書

ステレオデジタルボイスレコーダー

品番 ICR-PS185RM
ICR-PS182RM

パソコン編

準備

ファイルの管理

音楽を聞く

その他の活用方法

トラブルシューティング

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ 「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

⚠警告

■ 分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

⚠ 警告

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために
1.録音前には必ず試し録音をしてください。
2.録音データを他の機器にバックアップしてください。
3.電池の残量が充分にある電池をお使いください。
本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の保障はいたしません。

登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ およびWindow® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporation の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

Plays Windows Media™

※本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

ご使用上のご注意

内蔵メモリのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。パソコンでフォーマットした場合は、再度本機でフォーマットしてください。

パソコンに接続してできること

音声ファイルをパソコンに保存する

Windowsのエクスプローラを使って、本機で録音した音声ファイルを簡単に保存することができます。保存した音声ファイルはWindows Media Player などで再生できます。
「録音した音声ファイルをパソコンに保存する」☞16ページ

CDを作成する

Windows Media Playerを使って、パソコンに保存した音声ファイルをCDにコピーすることができます。
「音声ファイルをCD-R/RWにコピーする」☞25ページ

音楽プレーヤとして使用する

Windows Media playerを使って、パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送してお楽しみいただけます。
「本機で音楽を聞く」☞34ページ

外部メモリとして使用する

パソコンに保存されている画像データや文書ファイルを本機に転送し、持ち運ぶことができます。
「外部メモリとして使用する」☞52ページ

動作環境の確認

動作環境

本機は以下のパソコン環境で動作します。

対応機種	Windows標準搭載パソコン
対応OS （日本語版）	Windows Vista Windows XP Windows Millennium Edition (Me) Windows 2000 Professional (SP3以降)
USB端子	本製品接続時に1つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

- **Windows Media Playerについて**

  お使いのOSに対応した、以下のいずれかのWindows Media Playerをお使いください。

Windows Media Player 11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player 10	Windows XP
Windows Media Player 9	Windows Millennium Edition (Me) Windows 2000 Professional (SP3以降)

※上記以外のWindows Media Playerでの動作保証はいたしません。

※上記は2008年3月現在での動作環境です。

- MacintoshなどWindowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。
- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※ サスペンド：
  CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがROMへの電力供給はされている状態。
- Windows Vista/XP/2000をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
- Windows 2000以降で導入された「ダイナミックディスク」には動作保証していません。

動作環境の確認（つづき）

Windows Media Playerのバージョンを確認する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］を選択して、Windows Media playerを起動する

2 メニューバーが表示されている場合は、［ヘルプ］-［バージョン情報］をクリックして［バージョン情報］ウィンドウを表示する

メニューバーが表示されていない場合は、手順1のWindows Media Playerを起動した状態で、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［M］を押すとメニューバーが表示されます。

3 ［バージョン］の右側に表示されている数字を確認する

一番左のケタ番号が、お使いのWindows Media Playerのバージョンです。

9.××.×× ………… ⇒バージョン9
10.××.×× ………… ⇒バージョン10
11.××.×× ………… ⇒バージョン11

7.××…、8.××…と表記されているバージョンは動作保証致しません。

お使いのOSに対応した最新のWindows Media Playerを以下のURLから入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

本書の表記について

お使いのパソコンのメーカーやOSのバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/Windows Media Player 11、およびWindows XP/Windows Media Player 10となります。
その他のバージョンのOS/Windows Media Playerをお使いの場合は、当社サポートHPをご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

Windows Media Playerのバージョンを確認するには☞8ページ

パソコンに接続する/取り外す

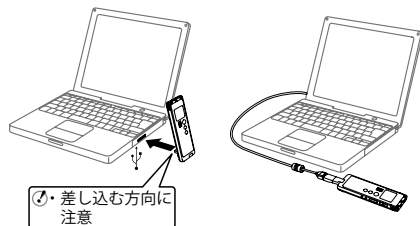
パソコンに接続する

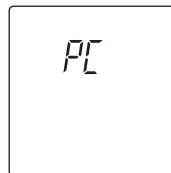
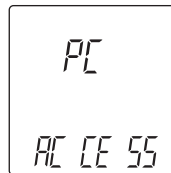
1. **本機の電源を切る**

   ☞本体操作編

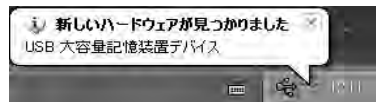
2. **USB保護カバーを外す**

   ☞本体操作編

3. **パソコンのUSB端子に接続する**

- 直接接続するのが無理な状況であれば、付属の専用USB接続ケーブルをお使いください。

■ パソコンに接続中の液晶パネルの表示

通信中は録音LEDが点滅します。
通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
上の画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

■ 初めて接続した場合

下図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。

・パソコンに何も表示されない場合は☞54ページ

■ 自動再生画面について

Windows XPまたはWindows Vistaをお使いの場合は［自動再生］画面が表示される場合があります。

（Windows XP）

[自動再生]画面で「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。
また、[自動再生]画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

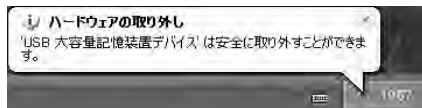
- バスパワー型USBハブ、またはUSB延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。
- 本機をパソコンに接続する、または取り外す時は、USB端子付近を持って抜き差ししてください。
- 本機をパソコンに接続したままパソコンを持ち運ばないでください。パソコンのUSB端子が破損する原因となります。

つづく

パソコンに接続する/取り外す（つづき）

パソコンから取り外す

1 **[タスクトレイ]のをクリックし、[USB大容量記憶装置デバイス-ドライブを安全に取り外します]をクリックする**

2 **下図のメッセージが表示されたら、本機をパソコンのUSB端子から取り外す**

- ［タスクトレイ］にアイコンが表示されない場合、Windowsのヘルプを参照ください。
- お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なります。

本機のフォルダについて

パソコンから見た本機のフォルダ状態

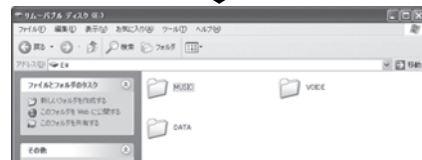
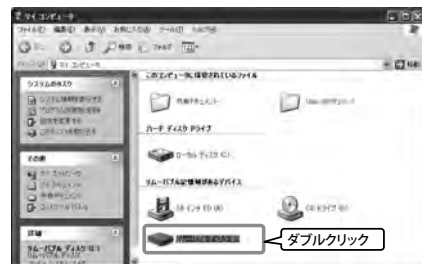
1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

「パソコンに接続する」☞10ページ

2 マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]をクリックする。または、デスクトップ上の[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。

3 リムーバブル ディスクを開く

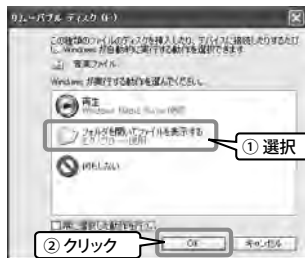
[マイ コンピュータ]内の[リムーバブル ディスク]をダブルクリックする。

本機のフォルダが表示されます。

- リムーバブル ディスクが表示されない場合
☞57ページ

本機のフォルダについて（つづき）

> メモ　複数のリムーバブル ディスクが表示されてどちらかわからない場合、接続時に新たに表示されるものが本機であることを表します。再接続して確認してください。

本機接続時に［自動再生］画面（☞11ページ）が表示された場合、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックしても、本機のフォルダを表示させることができます。

本機のフォルダーが表示されます

● VOICE

本機で録音した音声ファイル（MP3形式、WAV形式）を保存しているフォルダです。さらにA～Dの4つのフォルダに分かれています。

- 録音されたファイルがA～Dのそれぞれのフォルダに入っています。
  ファイル名は"IC_A_XXX.MP3"といった名前になります。（Aフォルダの場合、XXX：ファイル番号）
  ※PCMモードで録音したファイルは"IC_A_XXX.WAV"といったファイル名になります。
- ファイルを違うフォルダ（たとえばAフォルダ内のファイルをBフォルダへ）に移動しないでください。再生できなくなります。
- パソコンでファイル名を変更するとVOICEに戻しても再生できなくなりますが、MUSICフォルダに転送すると再生できるようになります。（WAV形式ファイルを除く）

● MUSIC

音楽ファイルなどパソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

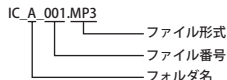
- 再生可能なファイルはMP3形式、WMA形式です。WAV形式のファイルは再生できません。ファイル名は問いません。
- ファイルを追加すると再生順が変わる場合があります。
- PLAYLISTフォルダにファイルを入れるとお好みの順番で再生することができます。
- このフォルダの下の階層にお好みのフォルダを作成し、アルバムや歌手ごとにファイルを入れることができます。楽曲情報（アーティスト名、アルバム名、楽曲名）は表示することができません。☞51ページ
- 一度パソコンに保存した音声ファイルを再び本機に戻すときは、MUSICフォルダ内へ転送してください。
  そのとき、同一のファイル名がMUSICフォルダ内にある場合、フォルダ内にあったファイルが上書きされますのでご注意ください。（WAV形式ファイルを除く）

● DATA

ワードやエクセルなどのファイルを入れて本機をUSBフラッシュメモリ（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。

- このフォルダに音声や曲ファイルを入れても本機では再生できません。

■ ファイル名について

本機で録音したファイルには、以下の構成で自動的に名前がつきます。

メモ　PCM録音したファイルのファイル形式は"WAV"となります。
例：IC_A_001.WAV

本機で記録したMP3または、WAVファイルの名前をパソコンで変更した場合、本機で再生できなくなります。ファイル名規則に沿ったファイル名に戻すか、MUSICフォルダに移して再生してください。（WAV形式ファイルを除く）

- 内蔵メモリのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまった場合は、再度本機でフォーマットしてください。
  フォーマットについては☞本体操作編

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

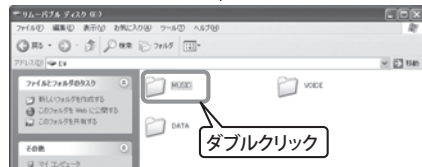
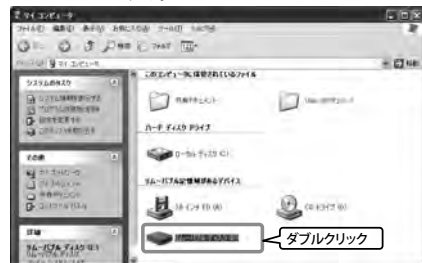
1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

「パソコンに接続する」☞10ページ

2 マイ コンピュータを開く

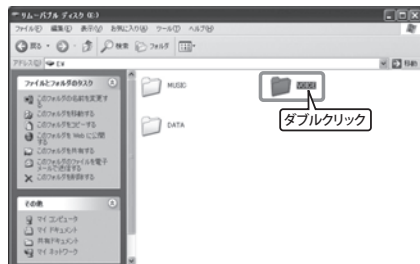
[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]をクリックする。または、デスクトップ上の[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。

3 リムーバブル ディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の[リムーバブル ディスク]をダブルクリックする。

本機のフォルダが表示されます。

- リムーバブル ディスクが表示されない場合 ☞57ページ

4 VOICEフォルダを開く

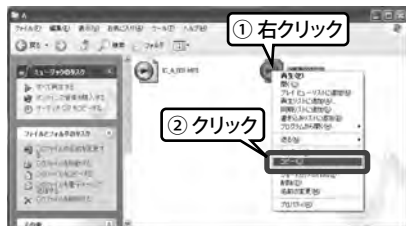
[リムーバブル ディスク]内の[VOICE]をダブルクリックする。

5 保存したいファイルの入っているフォルダを開く(A ~ Dフォルダ)

[VOICE]内のいずれかのフォルダをダブルクリックする。

- 上図はAフォルダを選ぶ例です。

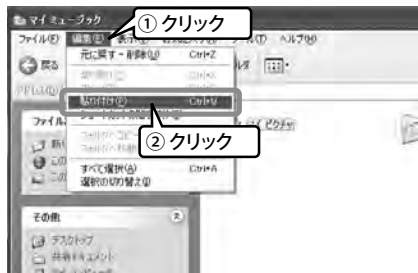
つづく

録音した音声ファイルをパソコンに保存する（つづき）

6 **保存したいファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[コピー]をクリックする**

- パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は[切り取り]を選んでください。

7 **保存先のフォルダを開く**

- この例では[マイ ミュージック]に保存します。

8 [編集]をクリックし、メニューから[貼り付け]をクリックする

保存先のフォルダに同名ファイルが作成されたら保存完了です。

転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

9 本機をパソコンから取り外す

「パソコンから取り外す」☞12ページ

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

マイミュージックに保存した音声ファイルを本機に転送して再生する方法について説明します。
パソコンに保存されたファイルを本機で開くときは、MUSICフォルダに転送します。

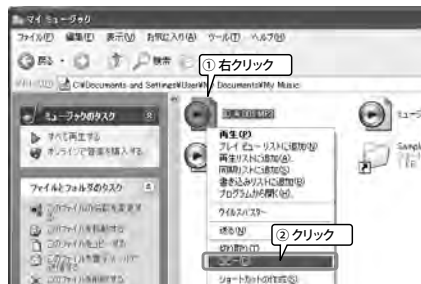
1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

「パソコンに接続する」☞10ページ

2 マイ ミュージックを開く

[スタート]メニューから「マイ ミュージック」をクリックする。または、デスクトップ上の[マイ ミュージック]をダブルクリックする。

マイ ミュージック以外の他の場所にファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

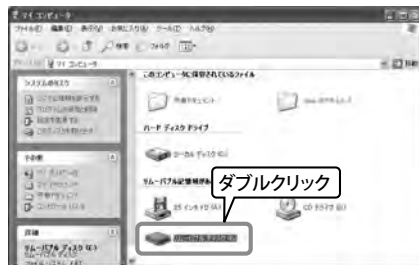
3 転送したい音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[コピー]をクリックする

4 マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]をクリックします。または、デスクトップ上の[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。

つづく

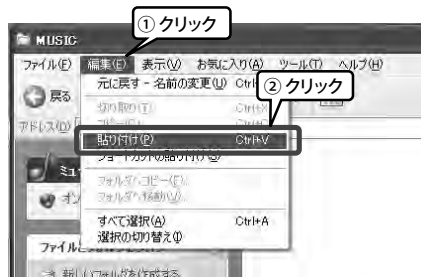
パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す（つづき）

5 リムーバブル ディスクを開く

［マイ コンピュータ］内の［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする。

6 MUSICフォルダを開く

［リムーバブル ディスク］内のMUSICフォルダをダブルクリックする。

7 音声ファイルを転送する

[編集]をクリックして表示されるメニューから[貼り付け]を選択してクリックする。

<コピー中表示>

転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら転送完了です。

8 本機をパソコンから取り外す

「パソコンから取り外す」☞12ページ

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す（つづき）

メモ

VOICEフォルダに戻したい場合

ファイル名規則（☞15ページ）に沿ったファイル名であることを確認し、VOICEフォルダ内の元のフォルダへ入れます。例えば、"IC_A_001.mp3"のファイルは、"A"フォルダに、"IC_B_003_mp3"のファイルは、"B"フォルダに戻します。元のフォルダ以外のところへ戻しても、再生できません。

(画面例はWindows XPです)

音声ファイルをCD-R/RWにコピーする

本機で録音した音声ファイルをWindows Media PlayerでCD-R/RWにコピーすることができます。
以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、[マイ ドキュメント]の[マイ ミュージック]に保存した状態で説明しています。

CD-R/RWにコピー中は、他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因になります。

※OSのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
説明で使用する画面Windows XP/Windows Media Player11、およびWindows XP/Windows Media Player10となります。
その他のバージョンのWindows Media Playerをお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

Windows Media Playerの入手方法の詳細は
Microsoft社のホームーページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

■ Windows Media Player11の場合

1 Windows Media Playerを起動する

画面左下の[スタート]メニューから[すべてのプログラム]ー[Windows Media Player]をクリックして、Windows Media Player11を起動する。

2 [書き込み] をクリックする

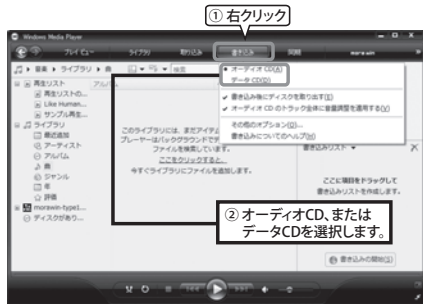
書き込み画面が表示されます。

クリック

つづく

音声ファイルをCD-R/RWにコピーする（つづき）

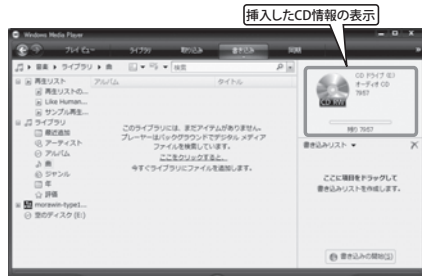
3 書き込み形式（作成するCDの種類）を選択する

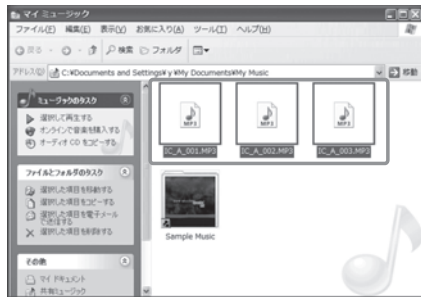
[書き込み] ボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから、[オーディオCD] または [データCD] をクリックする。

メモ
- オーディオCD：CD-DA形式に変換してCD-R/RWにコピーします。CD-R対応のコンポやカーステレオなどで再生できます。
- データCD：本機で録音した形式（MP3、PCM）のままCD-R/RWにコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

オーディオCDを選択してCD-R/RWにコピーする場合、CDの容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
- 650MB…74分
- 700MB…80分

コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。☞本体操作編

4 空のCD-RをCD-R/RWドライブに挿入する

書き込みリストの上に、挿入したCDの情報（残り記録時間など）が表示されます。

5 [スタート]メニューから[マイミュージック]を開く

マイミュージック以外の他の場所に、書き込むファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

6 CD-Rに書き込むファイルをWindows Media Playerの[書き込みリスト]にドラッグ＆ドロップして追加する

[書き込みリスト]に追加されたファイルが表示されます。

つづく

メモ ● ドラッグ&ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動(ドラッグ)させ、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことです。

7 書き込みを開始する

[書き込みの開始]をクリックして、CD-Rへの書き込みを開始する。

8 書き込みの完了

[完了]と表示されたら、CD-R/RWへの書き込みは完了です。

※Windows Media Player の設定によっては、自動的にCDトレイが開きます。

メモ
- 書き込みリストに追加した音声ファイルの合計時間が記録可能時間を超えた場合、Windows Media® Player 11 は自動的に複数のCDに分けて書き込みます。
  また、Windows Media® Player 11 は書き込み時に曲の間に 2 秒間の間隔を空けるため、合計時間が CD の長さと正確に一致していても最後の曲が収まらない可能性があります。

つづく

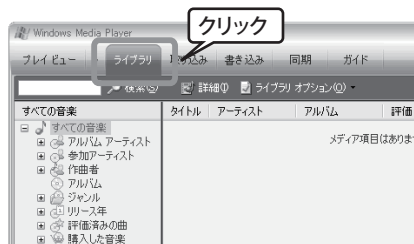
音声ファイルをCD-R/RWにコピーする（つづき）

■ Windows Media Player10の場合

1 **Windows Media Playerを起動する**

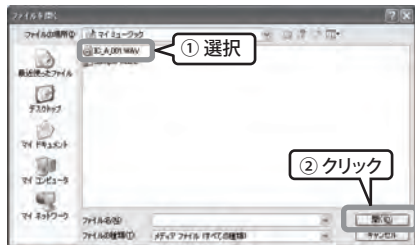
［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Playerを起動します。

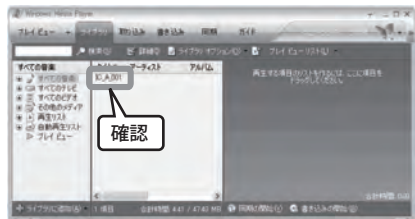
2 **空のCD-R/RWをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する**

3 **[ライブラリ]をクリックする**

4 **[ライブラリに追加]をクリックする**

画面左下にある[ライブラリに追加]ボタンをクリックします。

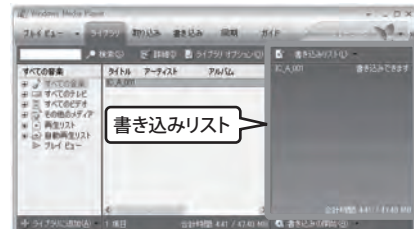
5 **追加したい音声ファイルを選ぶ**

ライブラリに追加したい音声ファイルを選択して、[開く]をクリックします。

6 選択した音声ファイルを確認する

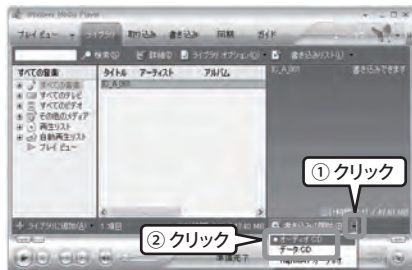
選択した音声ファイルがライブラリに表示されるので、内容を確認します。

7 書き込みリストを作成する

追加した音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[追加]-[書き込みリスト]をクリックします。

書き込みリストが作成されます。

つづく

音声ファイルをCD-R/RWにコピーする（つづき）

8 CD形式を選択する

画面右下にある[書き込み開始]ボタン横の▼をクリックし、[オーディオCD]または[データCD]をクリックします。

メモ
- オーディオCD：CD-DA形式に変換してCD-R/RWにコピーします。CD-R対応のラジカセやコンポなどで再生できます。
- データCD：本機で録音した形式（MP3、PCM）のままCD-R/RWにコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

オーディオCDを選択してCD-R/RWにコピーする場合、CDの容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
- 650MB…74分
- 700MB…80分

コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。
☞本体操作編

9 書き込みを開始する

画面右下にある[書き込み開始]ボタンをクリックします。

10 書き込みの完了

追加した音声ファイルがすべて[完了]と表示されたら、コピー終了です。

本機で音楽を聞く

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽ファイルを記録し、それを本機に転送する必要があります。

■音楽ファイルを記録するには

・ 音楽CDや語学CDから作成する

本機で再生できる形式は、次の2形式の音楽ファイルです。

・ WMA形式の音楽ファイル
・ MP3形式の音楽ファイル

※AAC形式など、本機に対応していない記録形式では再生できません。
※著作権保護されている音楽ファイルは本機で再生することはできません。

- お客様が転送したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布、インターネットへの掲載などに、使用することは固く禁じられています。
- 本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

音楽CDを記録する場合

Windows Media Playerを起動し、音楽CDの曲をライブラリへ取り込みます。
ライブラリへの取り込みが終わった段階で、音楽CDの内容がMP3（またはWMA）形式の音楽ファイルへと変換されます。
「音楽ファイルを作成する（CDリッピング）」
（☞35ページ）

Windows Media Playerを使って音楽ファイルを転送します。
「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」
（☞42ページ）

音楽ファイルを作成する（CDリッピング）

音楽CDや語学CDから本機で再生可能なファイル（MP3またはWMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

CDから音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

※OSのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
説明で使用する画面Windows XP/Windows Media Player11、およびWindows XP/Windows Media Player10となります。
その他のバージョンのWindows Media Playerをお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

Windows Media Playerの入手方法の詳細は
Microsoft社のホームーページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

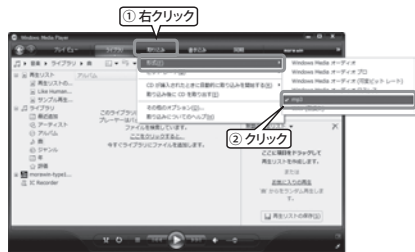
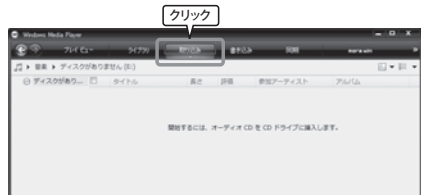
音楽ファイルを作成する（CDリッピング）（つづき）

■ Windows Media Player11の場合

1 Windows Media Playerを起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Playerを起動する。

2 Windows Media® Playerの設定を変更する

[取り込み] の上で右クリックして表示されるメニューから、[形式] - [mp3]をクリックする。

3 [取り込み] をクリックする

4 音楽CDをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する

- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。
  インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

5 取り込みを開始する

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて[取り込みの開始]をクリックする。

Windows Media Playerの設定によっては、CDを挿入したとき自動的に取り込みが開始されます。

6 取り込みの完了

つづく

音楽ファイルを作成する（CDリッピング）（つづき）

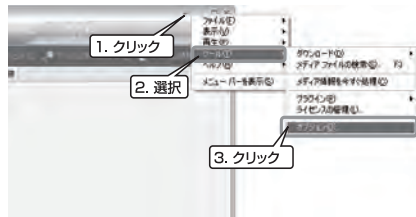
選択した曲がすべて[ライブラリに取り込み済み]と表示されたら、取り込みは完了です。
取り込まれたファイルは、Windows Media Playerの初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

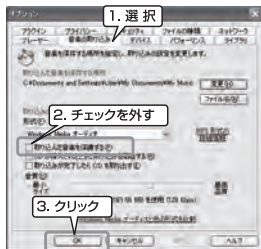
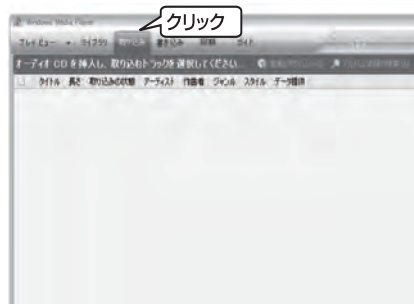
■ Windows Media Player10の場合

1 Windows Media Playerを起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Playerを起動する。

2 オプションを開く

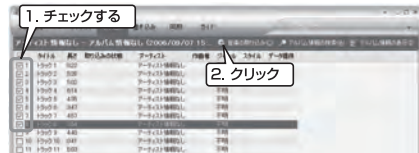
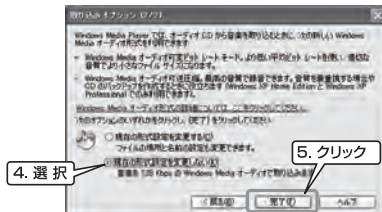
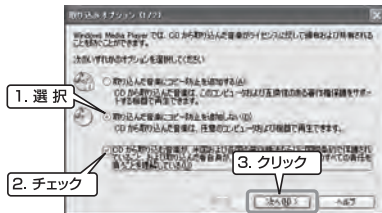
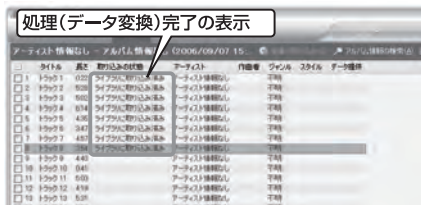
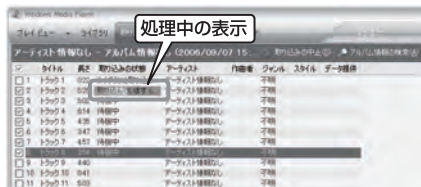
Windows Media Playerの画面右上にある[ ] ボタンをクリックし、表示されたメニューから［ツール］－［オプション］をクリックし、オプション画面を表示させる。

3 ［音楽の取り込み］タブより、［取り込んだ音楽を保護する］のチェックを外す

チェックを外した後、［OK］をクリックする。

4 ［取り込み］をクリックする

5 音楽CDをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する

- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は［アルバム情報の検索］をクリックしてください。
  インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

つづく

6 取り込みを開始する

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて、[音楽の取り込み]をクリックする。

※下記のような画面が表示された場合は、画面通りチェックをつけて[完了]をクリックしてください。

7 取込みの完了

選択した曲がすべて[ライブラリに取り込み済み]と表示されたら取り込みは完了です。
CDの内容がWMA（またはMP3）形式に変換されてパソコンに取り込まれます。
取り込まれた音楽ファイルは、Windows Media Playerの初期設定では、マイミュージックにアーティストまたはアルバムごとに分かれて保存されます。

Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
CDからパソコンに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽ファイルを作成する（CDリッピング）」を参照してください。☞35ページ

※OSのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
説明で使用する画面Windows XP/Windows Media Player11、およびWindows XP/Windows Media Player10となります。
その他のバージョンのWindows Media Playerをお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

Windows Media Playerの入手方法の詳細は
Microsoft社のホームーページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

■ Windows Media Player11の場合

1 Windows Media Playerを起動する

「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「Windows Media Player」を選択して、Windows Media Playerを起動する。

2 [同期] をクリックする

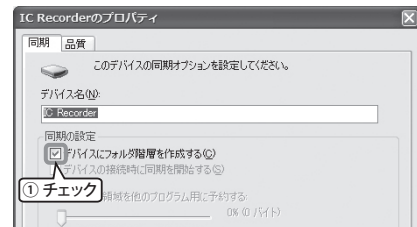
同期画面が表示されます。

3 本機をパソコンに接続する

接続した機器の情報が表示されます。

デバイスの設定画面が表示された場合は[完了]をクリックしてください。

4 同期の設定を行う

[同期]の上で右クリックし、表示されるメニューから[リムーバブルディスク]ー[詳細オプション] をクリックする。

[同期]タブの[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックをつけ、[OK]をクリックする。
初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK]をクリックしてください。

つづく

Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する（つづき）

5 同期リストを作成する

画面左側のライブラリから同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の「同期リスト」にドラッグ＆ドロップする。

メモ
- Ctrlキーを押しながら音楽ファイルを選択することで、複数のファイルをまとめて選択して追加することができます。
- アーティストやアルバムのジャケット画像をドラッグ＆ドロップすれば、その同期リストにアーティストやアルバムに含まれるすべての曲が同期リストに追加されます。

6 同期を開始する

画面右下の[同期の開始] ボタンをクリックする。

7 同期の完了

[デバイスに同期されました]と表示されたら、同期は完了です。

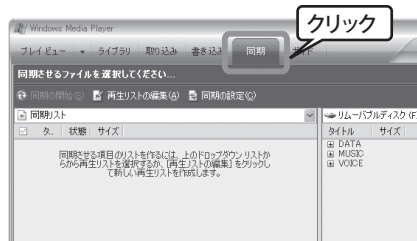
■ Windows Media Player10の場合

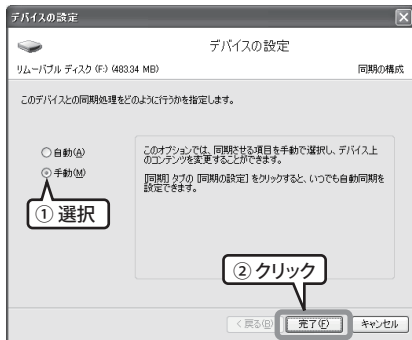
1 Windows Media Playerを起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Playerを起動します。

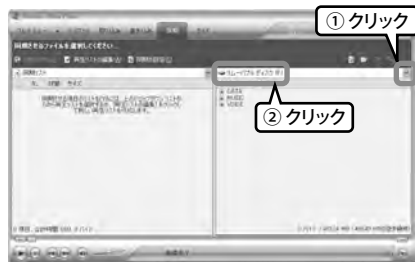
2 [同期]をクリックする

同期画面が表示されます。

つづく

Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する（つづき）

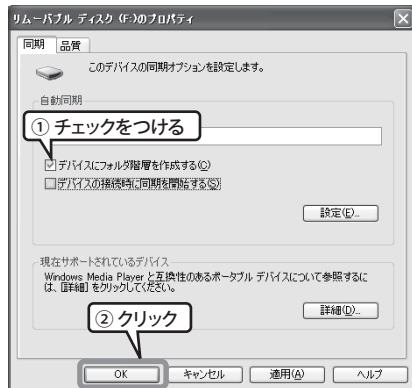
3 本機をパソコンに接続する

ここで、上図のような画面が表示された場合は、[手動]を選択し、[完了]をクリックします。

4 同期するデバイスを選択する

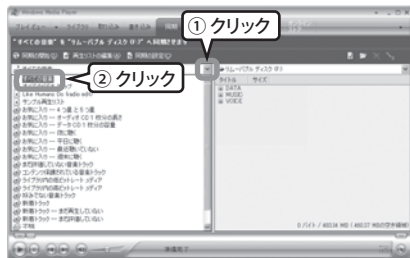
右側ウィンドウの[ ]をクリックし、表示されるメニュー内から同期するリムーバブルディスクを選択する。

5 同期の設定を変更する

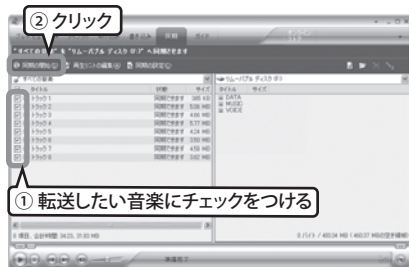
画面右上の[ ]をクリックする。

[自動同期設定]の[デバイスにフォルダ階層を作成する]にチェックをつけ、[OK]をクリックする。
初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから再度チェックをつけ、[OK]をクリックしてください。

つづく

Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する（つづき）

6 転送する音楽を選択する

下図のように左側ウィンドウの[ ]をクリックし、表示されるプルダウンメニューから[すべての音楽]をクリックする。

7 同期を開始する

左側ウィンドウにWindows Media Playerに登録されているすべての音楽が表示されるので、転送したい曲にチェックをつけて、[同期の開始]ボタンをクリックする。

8 同期の完了

[MUSIC]の中に[アーティスト]⇒[アルバム]の順にフォルダ階層が作成され、その中に音楽ファイルが転送されていることを確認してください。ルートディレクトリに転送されている場合は、本機で再生できませんので、設定を確認してからもう一度[同期]を行ってください。

[状態」が、[完了]と表示され、画面右側に転送したファイルが表示されれば音楽ファイルの転送は完了です。

お好きな曲順で再生する

MUSICフォルダ内のPLAYLISTフォルダに本機で録音したファイルやパソコンの音楽ファイルを転送すれば、ご希望の順番で再生することができます。
以下の説明は本機で録音したファイルがすでにパソコンに保存されていること、および音楽CDの取り込みが完了していることが前提です。

- パソコンに録音したファイルを保存する ☞20ページ
- 音楽CDの取り込みは ☞35ページ

> **楽曲情報（アーティスト名、アルバム名、楽曲名）は本機では表示することはできません。**

1 本機をパソコンに接続する

「パソコンに接続する」☞10ページ

2 再生したいファイルをMUSICフォルダ内のPLAYLISTフォルダへコピーする

「パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す」（20ページ）を参考に、本機のPLAYLISTフォルダに再生したいファイルを転送してください。

3 再生したい順番に、ファイルの先頭に曲順番号（プレイリスト）を付ける

- 曲順番号は、半角数字 3桁（001～199）で入力してください。

- 曲順の付け方の例

PLAYLISTフォルダ

（転送した順番）	(曲順番号を付ける）
MUSC1.mp3	**008**MUSC1.mp3
MUSIC2.mp3	**007**MUSIC2.mp3
01BEST SONG.wma	**006**BEST SONG.wma
02BEST SONG.wma	**005**BEST SONG.wma
03BESTSONG.wma	**004**BESTSONG.wma
01NEW SONG.mp3	**001**NEW SONG.mp3
02NEW SONG.mp3	**002**NEW SONG.mp3
03NEW SONG.MP3	**003**NEW SONG.MP3

● ファイル名を変更するには
ファイルを[右クリック]して[名前の変更]をクリックしてください。

4 本機をパソコンから取り外す

「パソコンから取り外す」☞12ページ

プレイリストフォルダに、音楽ファイルの入ったフォルダをコピーしても再生することはできません。必ず音楽ファイルをそのままコピーしてください。

メモ
- 曲順番号は、半角数字 3桁（001～199）で入力してください。
- 曲順番号を付けなかった場合には、先にPLAYLISTフォルダへコピーした曲順に再生されます。
- 正しく曲順番号を付けなかった場合には、希望の順番で再生しない場合があります。
- PLAYLISTフォルダで再生できる曲は199曲です。
- 200曲以上の曲をPLAYLISTフォルダに転送した場合でも 再生可能な曲は199曲までです。

フォルダを作成する

本機では、MUSICフォルダ以下2階層までフォルダを作成できます。「フォルダの階層について」☞本体操作編

アーティスト別にフォルダを作成したり、アルバムの各曲を1つのフォルダ内に転送したりすることによって、アルバムやアーティストごとに再生することができます。

- 再生できるのはMUSICフォルダの2つ下の階層のフォルダまでです。

再生方法は☞本体操作編

外部メモリとして使用する

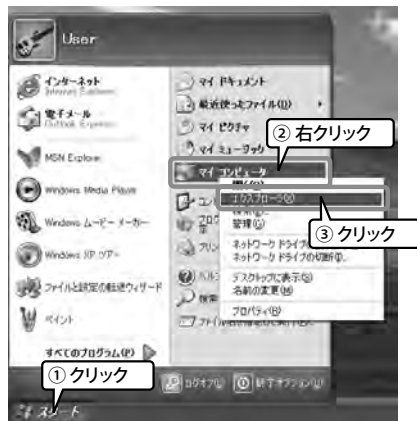
本機は、ステレオボイスレコーダとしての使い方のほかに、パソコンの外付けメモリとしてご使用いただけます。本機をパソコンと接続すれば、本機のデータをパソコンへ保存したり、転送されたデータを本機に保存することができます。

パソコンのデータを本機にコピーする

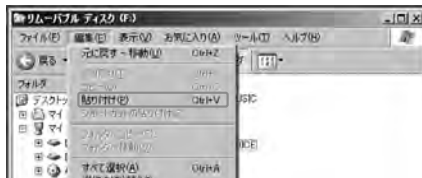
1 **パソコンを起動する**

2 **本機をパソコンに接続する**

「パソコンに接続する」☞10ページ

3 **エクスプローラを起動する**

4 **コピーするファイルを選択して右クリックし、[コピー]をクリックする**

5 [リムーバブル ディスク]をクリックする

6 [編集]をクリックし、メニューから[貼り付け]をクリックする

リムバームディスクに同名のファイルが作成されたら、コピー完了です。

7 本機をパソコンから取り外す

「パソコンから取り外す」☞12ページ

- 本機のコネクタはパソコンに確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 動作中およびUSBアクセスで表示ランプが点滅しているときは、本機を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- パソコンにUSBポートまたはUSBハブについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

故障かな?と思う前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

PC接続時に、本体に「PC」表示がでない

解決方法	パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本体に「PC」表示がでない場合や、パソコン側で本体が認識されない場合があります。その時は本体をパソコンより抜いて再度接続してください。

PC接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	パソコンのUSB端子に最後まで正しく差し込まれているか、またUSBケーブル使用時は本機側のUSB端子が正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 10ページ「パソコンに接続する」参照

原因	Windows 98, 98SEのPC及びMacintoshに接続している
解決方法	Windows 98, 98SE及びMacintoshはサポートしていません。

原因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	バスパワー型USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型(電源アダプター付)のUSBハブを使用してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他のUSB端子に接続してください。 10ページ「パソコンに接続する」参照

原因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原因	パソコンと本機が正しく接続されない
解決方法	パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 本機に対応するパソコン以外に接続されても動作保証いたしません。 7ページ「動作環境」、10ページ「パソコンに接続する」参照

パソコンから本機へのファイルの転送速度が遅い

原　　因	パソコンのUSB1.1に接続している
解決方法	USB2.0のHigh Speed対応USB端子に接続してください。

よくあるご質問(Q＆A)

Q：うまく録音するコツは?

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードや感度を選択してください。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか? ファイル名を変更すると、VOICEフォルダに戻しても再生できませんが、MUSICフォルダに転送すると再生できるようになります。

A：パソコンでファイル名を変更している場合
MUSICフォルダに戻してください。例えば、本機”A"フォルダに録音された音声ファイルをパソコンに保存し、ファイル名を変更していた場合、そのファイルを元の”A"フォルダに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、”MUSIC"フォルダに入れると再生できます。

A：MUSICフォルダに戻しても再生できない場合
ファイル名の最後に拡張子"mp3"をつけてください。例えば、ファイル名を変更した際、拡張子の付け忘れ、あるいは"mp3"以外の拡張子になっていると、MUSICフォルダ内でも再生できません。

A：VOICEフォルダに戻したい場合
ファイル名規則（15ページ）に沿ったファイル名であることを確認し、VOICEフォルダへ入れます。例えば、"IC_A_001.mp3"のファイルは、"A"フォルダに戻します。その他のフォルダ（B、C 及び D)フォルダに戻しても再生できません。

その他のよくあるご質問ならびにソフトウエアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ http://www.sanyo-audio.com/support/icr/ にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

本機が正常に認識されているか確認する

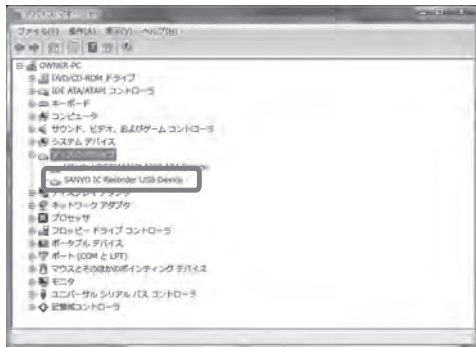
● Windows Vista

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。

[スタート]メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システム]画面を開きます。
[デバイスマネージャ]をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から[続行]を選択して[デバイスマネージャ]画面を開きます。
[ディスクドライブ]及び[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

＜Windows Vista＞

トラブルシューティング

つづく

本機が正常に認識されているか確認する(つづき)

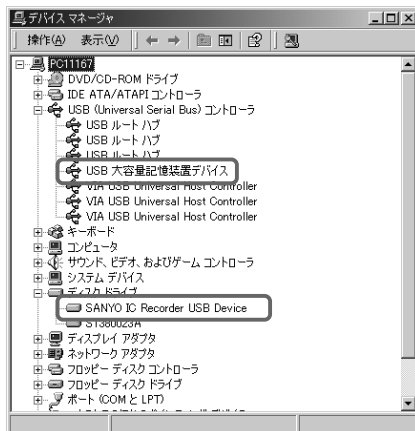
● Windows XP、Windows 2000

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。

[スタート]メニュー(またはデスクトップ上)の[マイコンピュータ]アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システムのプロパティ]画面を開きます。

[ハードウェア]タブ内の[デバイスマネージャ]をクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ]および[USB(Universal Seial Bus)コントローラ]に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

＜Windows XP＞

＜Windows 2000＞

● Windows Me

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。

デスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システムのプロパティ]画面を開きます。

[デバイスマネージャ]タブをクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ]および[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

＜Windows Me＞

つづく

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら?

以下の手順で確認を行ってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器(正しく動作しているマウス・キーボードは除く)はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSB端子が複数ある場合(前面・背面など)は、別のUSB端子に本機を接続してください。
4. バスパワー型USBハブ(USB端子分配用周辺機器)を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSB端子に直接付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

- 接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。